（5） 板書計画

※留意点

　　　おにごっこ

　　　　　　　　　　　もりしたはるみ

めあて

　　①

　　　②

　　③

　　④

　　　　　　⑤

　　このように

　　⑥

まとめ

◎はじめ‐中‐おわりの分け方は、

・はじめ→問い(①)

・中→せつ明（②③④⑤）

・おわり→まとめ・答え（⑥）

　　　　このように（まとめの言ば）

どんなあそび方があるのか。

なぜ、そのようなあそび方を

するのか。

かんたんにつかまらないから

あんぜんな場所をきめるあそび方

おにがつかまえやすいから

にげる場所がきまっている

あそび方

おにがふえていくあそび方

にげる人がどきどきして

楽しいから

みんなが楽しめるようにくふう

されてきたから

さまざまなあそび方がある

つかまりにくいから

手をつなぐあそび方

はじめ

中

おわり

◎本文のどこではじめ‐中‐

おわりに分けたらいいかな？

問　い

答　え

まとめ

せつめい

挿絵

挿絵

挿絵

※ノートと板書の一体化

児童のノートのマス目に合わせた

板書にする。

※色によるしかけ

・遊び方→ピンク

・その理由→水色　に色分けして提示することで、文章構成を視覚化し，図式化する。

※書くことが苦手な児童への配慮

書くことが遅い児童へは、板書を同じワークシートを選ばせ、書く量に配慮する。

※挿絵の活用

挿絵がどこに入るかに着目させ、

事例（中）の説明であることに気づかせる。

※接続語への着目

まとめを表す接続語「このように」

が、事例（中）とまとめ（答え）をつなげていることに気づかせる。

※書き出しの提示

「◎はじめ-中-おわりの分け方は」

と書き出しを提示することで、めあてに沿ったまとめができるようにする。

※文節の区切り

カード類は、改行に気をつける。